

製品名: Blk (リン酸化 Tyr501) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04322**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	BLK
別名	BLK; Tyrosine-protein kinase Blk; B lymphocyte kinase; p55-Blk
遺伝子 ID	640.0
SwissProt ID	P51451
免疫原	抗血清は、ヒト BLK 由来の Tyr501 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 456-505

背景

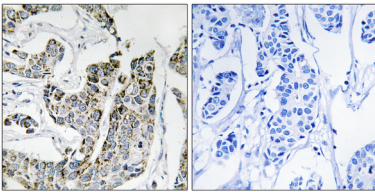
この遺伝子は、細胞の増殖と分化に一般的に関与するプロトオンコジーン src ファミリーに属する非受容体型チロシンキナーゼをコー

ドしています。このタンパク質は、B細胞受容体シグナル伝達とB細胞の発生に関与しています。また、グルコースに応答してインスリンの合成と分泌を刺激し、膵β細胞における複数の転写因子の発現を増強します。[RefSeq提供、2010年8月],触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。機能: Bリンパ球系細胞に限定されたシグナル伝達経路で機能する可能性がある。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。Tyrタンパク質キナーゼファミリー。SRCサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。類似性: 1つのSH2ドメインを含みます。類似性: 1つのSH3ドメインを含みます。、

研究分野

Jak-STATシグナル伝達経路

画像データ



BLK (リン酸化Tyr501)抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。